

令和5年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：令和5年4月15日（土）
午後2時～3時30分
ところ：西公民館
参加者：66人

○市長あいさつ

（市長より、令和5年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問(市民)

中央小学校東通りについて、最近マンションが建ち、車の通行が多くなりました。中央小学校に隣接した道路であり、子供たちが利用するほか、高齢者の散歩コースにもなっています。事故がおきないように事前に交通安全対策をお願いします。

回答(市長)

蕨市では、交通安全対策として、市民の皆さんや蕨警察署と連携を図り、例年、交通事故発生箇所や危険と思われる箇所を整備しておりますが、ご意見をいただいた場所についても職員が現場を確認し、どんな対策が必要か検討してまいります。

質問(市民)

障害者の子どもをもつ親です。私自身が高齢化してきており、市内から遠くにある施設に入所となると会いに行くことも難しくなると思います。ぜひ、市内に障害者の入所施設をつくってください。

回答(市長)

市長面会などを通じて、皆さんのお声を伺っており、入所施設の必要性は充分痛感しています。入所施設の整備は、土地の確保や地代が課題となっています。入所施設は、土地が安価な市街化調整区域にも建てるのが認められているため、多くの施設がこうした土地を活用し、整備を進めています。一方で蕨市は、

全域、土地が高価な市街化地域となっており、蕨市での整備には多額の費用が必要となってきます。こうしたことから、市では、施設運営実績のある社会福祉法人と協議を行うとともに、近隣の戸田市とも連携を図り、障害のある方への暮らしの場の確保対策について協議を重ねております。引き続き、努力してまいりますのでご理解をいただければと思います。

質問(市民)

昨年度、お年寄りを敬う会については、1月28日という寒い時期に開催されましたが、その経緯について教えてください。また、当日の記念品については、会場に取りに行けばいただけることになってはいますが、もっと良い仕組みを考えてください。

回答(市長)

お年寄りを敬う会については、例年、敬老の日に合わせて9月に開催していますが、令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされました。一方でコロナ禍においていろいろなイベントがなくなり、高齢者の皆さんが閉じこもり元気をなくしているというお声もあったことから、令和4年度は、何とか延期をして、この時期の開催となったところです。参加した皆さんには、大変喜んでいただき、やはり、事業の主旨としても足を運んでいただくことを大切にしたいと思っています。また、今回は、バスを利用したの参加者が多く、今後も皆さんが参加しやすいよう工夫をしていきたいと思っています。

なお、今年度は、例年どおり9月に開催する予定ですので、楽しみにお待ちしております。

質問(市民)

東公民館の利用団体です。普段、3階の集会室を利用していますが、カーテン留めや机の一部が壊れているなど、設備の老朽化が気になります。また、トイレについても小・中学生のみならず、高齢者の方なども安心して使用できるよう、特に、集会室の周りは、全ての洋式化を検討してください。

回答(市長)

市内の公共施設の耐震化については、市立病院を残すところとなり、大規模な事業については目途が立ってきたところです。こうしたことから今年度は、道路

老朽化対策の集中的実施や学校トイレの改修の加速などについて実施することとなっていますが、今後は、お話をいただいたような施設設備等の改善にも積極的取り組んでいきたいと思えます。

質問(市民)

物価高騰が続くなか、子育て世帯の暮らしに目を向け、給食費無償化を実施いただいたことに感謝申し上げます。

さて、子育て世帯訪問支援事業のヤングケアラーの取組みについてですが、本人から申し出ることはなかなか難しいと思えますが、学校などを通じて実施されるのでしょうか。また、私自身もお手伝いできることがあればと考えているのですがいかがですか。

回答(市長)

ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題とつながっていることが多いことから、ヤングケアラー本人の意思を尊重しながら、様々な関連機関と連携していくことが重要になってくると考えています。蕨市では、ヤングケアラーについて、学校の先生への研修や子どもたちへのアンケートを行うとともに、社会福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカーとの連携も促進していきます。まずは、家庭や学校、関係機関などと連携を図りながら、支援に繋がる仕組みを整備していきたいと考えています。

質問(市民)

阪神淡路大震災の際には、生活用水の確保が問題となりましたが、蕨市では、上水道の基幹管路の耐震化が96%に及んでいることや東日本大震災の際には、すでに小・中学校の耐震化が終了していたことなどを振り返ると、蕨市で防災に強いまちづくりが着実に進められていることに改めて感謝いたします。

ところで、錦町区画整理事業が進み、住環境の充実が図られ大変嬉しく思っていますが、八百屋や飲食店などの商店が減少し、近場で買い物ができなくなって困っています。何か高齢者の生活への総合施策はないでしょうか。

回答(市長)

錦町地区では、区画整理が進んでいますが、移転に際してお店を続けてくれる商店が減ってきています。高齢者福祉施策としては、有償ボランティアの買い物支援事業所や宅配などを行っていますが、今後、商業施策として、キッチンカー

などの移動販売の誘致なども有効的ではないかと考えています。また、先月、錦町に2店舗ある(株)セキ薬品と災害時における物資供給等の協力に関する協定を結びましたが、近年では、こうしたドラッグストアにおいても食品を扱っており、ご活用いただければと思っています。

質問(市民)

蕨市では、自転車用ヘルメットの購入費を補助してくださるということで、すぐにヘルメットを購入しに行きましたが、在庫切れで残念に思っています。今後こうした市民生活に直結した施策をお願いします。

回答(市長)

令和5年4月1日から全ての自転車利用者に対して自転車の乗車用ヘルメット着用が努力義務となりました。蕨市では、着用促進に向けて、自転車用ヘルメットの購入費補助について創設したところ、新年度早々、多くの方から申請をいただいております。現在、ヘルメットについては、品切れのお店もあるようですが、補助制度につきましては、令和7年度まで、3年間継続して行いますので、ヘルメットご購入後に申請いただければと思います。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。